

受験番号:37IPCN003

【問1】

【書類名】特許請求の範囲

【請求項1】

電力網サーバにユーザーの支払ユニットに基づいて対応する初期インタフェースを生成させるために用いられる生成モジュールと、

前記電力網サーバに各前記初期インタフェースに対応する電気料金表示テンプレート、ウォレット表示テンプレートを作成させ、電力データベースにおける対応する支払ユニットの電気料金情報を抽出して前記電気料金表示テンプレート内に記入し、銀行データベースにおける前記ユーザーのデジタル通貨情報を抽出して前記ウォレット表示テンプレート内に記入した後、クライアントに送信してデータの対話を行い、前記初期インタフェースに対してカスタマイズ処理を行うために用いられる対話モジュールと、

前記ユーザーが前記クライアントに基づいて前記電力料金表示テンプレートの1つを選択し、かつ対応するプリペイド電力料金情報を入力したと判断された場合、前記電力網サーバは前記プリペイド電力料金情報に基づいて対応する支払情報を生成して前記銀行サーバに送信するために用いられる送信モジュールと、

を含むことを特徴とするデジタル通貨電気料金支払い装置。

【請求項2】

前記初期インタフェースは少なくとも1つの表示領域を含み、各前記表示領域は1つの前記支払ユニットに対応する、

ことを特徴とする請求項1に記載のデジタル通貨電気料金支払い装置。

【問2】

【背景技術】

科学技術の継続的な発展に伴い、人々の様々なエネルギーに対する需要もますます高まっている。従来技術において、リチウム電池の正極材料として三元正極材料が使用されるが、従来技術における三元正極材料の表層のリチウムイオン反応活性が比較的が高い、これによって三元正極材料が生産、貯蔵或は運送の過程に表層或は表面近傍の格子内のリチウムイオンが空気中の水或は二酸化炭素と絶えず反応し、表層或は表面近傍の格子のリチウムの消耗を引き起こし、反応の生成物が三元正極材料の表面を被覆してしまう。被覆後の表面のアルカリ度が持続的に上昇し、その結果、リチウム電池正極のレート性能に影響を及ぼし、従来技術によって提供される三元正極材料の空気安定性を悪化させる。

従って、どのようにしてより空気安定性に優れたリチウム電池正極材料を提供することは当業者が早急に解決しなければならない問題となっている。

【問3】

【発明を実施するための形態】

図1および図2に示ように、本発明による安全バルブのバルブ位置測定装置は、ケーシング1と、プッシュロッド2と、検出アセンブリとを含む。

ケーシング1の内部には収納腔が設けられ、収納腔の片側に貫通口が設けられている。プッシュロッド2は貫通口に貫通するように設けられ、且つ一部が収納腔内に収納され、プッシュロッド2の外端は貫通口から伸び出し、且つ安全バルブのバルブロッド8の傾斜面に当接する。検出アセンブリは磁気伝導体3と、磁極コイル4と、バルブ位置信号回路5とを含み、磁気伝導体3と磁極コイル4とは収納腔内に収納され、磁気伝導体3はプッシュロッド2に接続され、磁極コイル4は磁気伝導体3の周囲を取り囲んでいる。バルブロッド8が垂直方向に沿って移動すると、その傾斜面はプッシュロッドを水平方向に沿って移動させるように駆動することができ、それにより磁気伝導体3を磁極コイル4の中心軸線に沿って移動させるように動かして、磁極コイル4にインダクタンス値の変化を生じさせる。バルブ位置信号回路5は、磁極コイル4に電氣的に接続され、磁極コイル4のインダクタンス値の変化に応じてバルブ位置変化信号を出力するために用いられる。